

◆『第1回 体育祭』

突然ですが、さいたま市立大宮国際中等教育学校は今年で創立何周年になるでしょう。答えは、4周年です。2019年に創立された本校は、6月1日の開校記念日をもって5年目を迎えました。さて、去る5月25日に本校初となる記念すべき第1回体育祭が開催されました。予定していた火曜日は雨で延期となりましたが、25日は天候に恵まれ、素晴らしい体育祭日和となりました。クラスごとの縦割りで分かれた学年混合の Peach・Sky・Lemon・Wisteria の4チームが競い合いました。当日の様子を競技ごとにご紹介します。

MOIS トレーニング



全校生徒による準備体操です。

クイズ 50M 走



MOIS の先生に関するクイズに正解しないとゴールができません。

2人3脚



コースの途中には縄跳びを跳ぶ場面もありました。

男女混合玉入れ



最初は学年ごと、最後にはチーム一体となって玉を入れました。

男女混合リレー



1年生から5年生までタスキをつなぎました。



アトラクションリレー



ハードルやネットなどのアトラクションをクリアして走り抜きました。

台風の目



学年ごとに熱い戦いが繰り広げられました。

4×100M リレー



学年の男女、それぞれ4人ずつがタスキをつなぎました。

4×100M リレーでは、出場する5年生全員で円陣を組むなど、クラスの枠を超え、学年としても最後まで一丸となる姿が見られました。最後の成績発表では、生徒はみな固唾をのんで結果を見守っていました。結果は、それぞれ Peach 290点、Sky 290点、Lemon 323点、Wisteria 263点となり、Lemon が優勝しました。保護者の皆様におかれましては、温かい応援やたくさんの拍手を頂き、誠にありがとうございました。

◆『体育祭に向けて…』



「Peach」



「Sky」



「Lemon」



「Wisteria」

各チームで体育祭に向けた漢字一文字を決め、その周りに各クラスが体育祭に向けた意気込みを寄せ書きしたものです。これは、生徒が主体となってお互いに体育祭に向けて団結心を生むために HR 委員が企画しました。それぞれ個性的な意気込みが書かれています。渡り廊下に掲示されていますので、学校にお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

TOPIC : ESP (English Speech Performance)

5月23日のLDTの時間にESP(English Speech Performance)が行われました。ESPとは、各学年からエントリーした生徒たちが英語の表現力を披露し合うイベントで、1、2学年はさいたま市の暗唱大会に向けて、教科書の一部を演じながら発表しました。また、自分自身で考えたOriginal speechを発表する生徒もいました。Original speechのテーマとしては、LGBTQなど大人も考えさせられる内容について、よりよい社会を目指し、自分の考えを英語で表現しました。また、同日に授業体験会に訪れた小学生も英語で発表を行いました。MOISの生徒と小学生とが英語で交流をするなど活発な活動が行われたESPとなりました。



○福祉まるごと相談窓口

さいたま市福祉局/生活福祉部/生活福祉課 自立支援係からのお知らせです。
以下のQRコードよりご確認ください。

「福祉まるごと相談窓口」について

生活にお困りの方や、福祉のさまざまな課題を抱えた方等の相談を包括的に受け止め、相談内容に応じた必要な支援のコーディネートを行う福祉の総合相談窓口です。



IB コーディネータ: Brad Semans

Why New Zealand? Why Pittsburgh?

More than 10 years ago, the mayor of our city, Mr. Hayato Shimizu along with our current superintendent, Mayumi Hosoda, and Principal Sekita (both of whom were working at the Saitama City Board of Education) envisioned a school that taught an international curriculum. Furthermore, the school would build strong and meaningful ties with the schools around the world. Though the pandemic has greatly restricted us, we are finally on our way abroad. So why New Zealand? Why Pittsburgh?

New Zealand and our city have a number of features that are comparable. First both cities have experienced the challenge raised by natural disasters. Another important similarity between our cities is the focus on revitalizing and strengthening the culture and industry within the city. MOIS students will have a great opportunity to work with their peers in Christ church to learn more about international and local development.

Pittsburgh, in the United States, is another place that has deep ties to our school. For more than 30 years Pittsburgh has been a sister city with the city of Omiya and then Saitama City. While Pittsburgh was once known as a steel town, producing large amounts of steel used in the United States and the world, its economy has been reimagined and it is now well known as a center for medical device manufacturing, robotics, and investment. Local universities have extended a warm welcome to our students as we prepare to participate in camps with local high school students.

1 学年「3G Project がはじまりました」

1 学年担当: 松山 侑紀

本校独自のカリキュラム、3G Project がはじまりました。これは「総合的な学習の時間」を使って本校の校訓である3つのGを身に付けていこうとするもので、幅広いテーマに合わせた探究活動を行います。第1回目のテーマは「SA活動」です。SAとは「action(活動)」、「service(奉仕)」を合わせた「Service as action(行動としての奉仕)」のことで、私たちが自らの行動により、地域社会や地域の人々のために助けとなることを意味しています。今回は学校内外を実際に歩いて回り、困っている人やお手伝いができそうなところを探しました。具体的な活動として、学校周辺の事故を減らすためのマップ作りやグラウンドの整備、公園・河川の清掃を行いました。これからもさまざまな活動を通して、Pay it forward spirit (恩送り)の心に火が付くよう働きかけを行ってまいります。

公園清掃の様子



Before

After

グラウンド整備の様子



Before

After

2学年「有意義な学習活動」

2学年担当：山下 紘輝

2年生の授業の様子をご紹介します。数学の授業では、グループメイト同士で教えあいながら、解答の糸口を探し出しています。また、言語と文学の授業では、ICTを活用しながら、1年生に向けて作成したMOISに関するレクチャー動画の共有を行っています。自分自身がどのような意図をもって、またどのようなニーズをふまえて、作成したのかを発表しています。学年が上がり、活動の難易度も上がっています。そのなかで日々の学習を有意義なものにしていこうという意欲が生徒のなかに形成されてきています。計画性をもった学習サイクルの構築と日々の学習習慣が確立できるように、働きかけを行ってまいります。



数学の探究学習の様子です。

3学年「楽しい授業」

3学年担当：神山 裕章

授業の様子をご紹介します。科学の授業では、生物の連続性の学習のなかで細胞分裂や生殖・遺伝について学習しました。ニンニクの根を顕微鏡で観察し、今まさに分裂中の染色体を見つけ生命の神秘を感じています。また、トウモロコシに見られる黄色い粒と白い粒の数を班員で手分けして地道に数え上げ、どのトウモロコシも黄：白=3：1であることを確認し、メンデルの遺伝の法則にしたがっていることを実感しました。LHRの時間には体育祭種目である台風の目の練習と、全体練習を行いました。初めて開催される体育祭を盛り上げようと PeLe (P・E leader) を中心としてクラスごとに団結して取り組みました。また、今月は二者面談をおこない、今力を入れていること、心配なことなどを教員と共有しました。

新クラスになり2か月が過ぎようとしている今、授業が本格化するとともに、クラスとしてのまとまりが醸成されつつあります。



体育祭練習を頑張りました。

4年次「学校生活について」

4年次担当:戸所 良介

4年次の生活が始まり約2か月が経ちました。ご家庭でのお子さんのご様子はいかがでしょう。担当授業はもちろんのことですが、私が空き時間に授業の様子をみていますと、各授業で主体的・対話的に学習活動をおこなっています。生徒一人ひとり、計画と目標をもって臨んでいるようです。学習面では、先日、5年次のコース・科目選択がありました。各ご家庭でもお子さんと進路のことについて、よくお話しいただきましてありがとうございます。担任との二者面談のなかで、お子さんたちの話を聞いていますと、しっかりと先を見据えているのが分かります。今後も何かご不安等ございましたら、学年までお問合せください。各科目で総括的評価テストや課題提出等ありますが、先ほど申し上げた通り、これからもしっかりと臨んでくれることでしょう。6月6日(火)より始まる NZ 語学研修に加え、今後の学校生活、行事を通してますますお子さんたちの成長に期待が高まります。

体育祭当日に
意気込みを書きました。



数学の総括的評価テストの
一コマです。



5年次「前提を整える」

5年次担当:北川 嘉則

5月は、今月に控えた海外フィールドワークに向けた準備として、基本的な生活習慣を整えるための取り組みを生徒が主体となって進めました。ゴールデンウィーク明けの HR にて、各 HR 委員が中心となって、時間厳守・持ち物管理の徹底などを確認しました。また、週番を中心に、Classi 等で発信される様々な情報の収集・整理・共有にも取り組みました。学年団としては、こうした基本的な生活習慣は今後自立・自走する存在・集団に成長していくうえで、しっかり整えておかなければならない前提と考えています。海外フィールドワークに限らず、継続的にご家庭においてもご指導いただければと思います。また、二者面談では、受験を来年度に控え、自分の将来の目標やその達成に向けた受験校の選定や科目選択について自分の考えを担任教員に語っていました。目標が明確になっていない生徒、不安を感じている生徒もいましたが、学年団としては選択肢を絞らず、可能性を広げていけるような学習・進路探究をしてもらいたいと考えています。本人のモチベーションや強みはどこにあるのか、ぜひご家庭でも話し合っていただければと思います。



ROK (Roots of knowledge)
の授業の様子です。



二者面談の様子です